

「子どもを守るネットワーク」事業

# 子どもネットニュース



VOL. 192

## 特別インタビュー

### 子どもを守るために 大人のゆとりを生み出したい

子どもを守るネットワーク対策委員会 堀川 竜二委員長  
(私鉄総連 小田急バス労働組合 執行委員長)



今年度から子どもを守るネットワークの対策委員会の委員長になった小田急バス労働組合の堀川執行委員長に子どもを守るネットワークの現状や、今後の活動についての目標をインタビューしました。

#### ■堀川委員長の簡単な経歴と自己紹介をお願いします。

高校卒業後に他の企業に勤めたのちに、当時友人が勤めていた小田急バス株式会社に1995年12月に入社しました。入社後は武蔵境営業所に配属されました。労働組合との関わりは、仕事がハードで辞めようか悩んでいたことを組合役員の先輩に相談したことがきっかけでした。労働組合と関わる中で、労働条件の改善は労働組合があると出来ることを知りました。その後、30歳代の時に支部役員の経験を経て、組合本部執行委員になりました。役員選挙で落選するなど紆余曲折ありましたが、執行委員から副執行委員長を経て現在は執行委員長の任についています。

#### ■子どもを守るネットワークの取り組みと労働組合で子どもに関する取り組みなどあれば教えてください。

550両ほどの路線バス車両に子どもを守るネットワークのステッカーを貼り、子どもネットニュースを毎月行われる組合委員会議案書に織り込み、運転士である組合員に対して困っている子どもがいたら助けてあげるよう周知しています。

労働組合としては、2024年の秋闘時に奨学金を支払っている組合員に対し、一定の条件はあるものの、会社が代わりに奨学金を支払う制度を確立できました。この結果、奨学金を支払っていた組合員からとても喜ばれました。金銭的な面で結婚や子どもを持つことに躊躇せず選択してほしいと思いから会社と協議し実現できたので良かったと思います。

#### ■子どもを守るネットワークの取り組みと労働組合で子どもに関する取り組みなどあれば教えてください。

子どもを守るという事は世の中で最も弱い立場にある人を守る事だと思いますし、大人が子どもを守ることは当然だと思っています。しかし現代は、労働者である多くの大人が厳しい労働環境のなかで働いており、自分の事を守るだけで精一杯になっています。まずは大人がゆとりある生活をおくれるよう、子どもを守るネットワークの取り組みを通じ、労働者同士の連帯が築けるような活動していきたいと思っています。

#### ■インタビューこぼれ話・・・

堀川委員長の趣味は釣り、登山、スキー、畑、レザークラフト、ギター、ベースなどなど・・・ご自身のお財布やコインケースはお手製とのことです・・・！

堀川委員長、ご協力をありがとうございました！

「子どもを守るネットワーク」事務局

〒190-0012 立川市曙町2-15-20-5F 連合三多摩ブロック地協内

TEL 042-529-5550

FAX 042-529-5552